

悔いのない学生生活を（チャペルメッセージ①）

求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。

（新約聖書・マタイ福音書 6章 6-7 節）

本来なら先々週から大学の春学期の授業が開始される所でしたが、皆さんもご存じのように、新型コロナウイルスの感染拡大のため、残念ながら当面は通常の授業を始めることができなくなり、また、各学部のチャペルアワーもしばらく実施できないことになりました。このように、かなり異例な形で新年度が始まったわけですが、いずれにせよ、新入生の皆さんには充実した学生生活を送ってほしいと願っています。もちろん、一体何が充実した学生生活なのかという点に関しては様々な考え方があるかと思いますが、何より大学で多くのことを学んでください。ただそうはいっても、狭い意味での学問だけではなく広い学びをして下さい。より具体的に言うなら、（現状では難しいですが）多くの人との出会いを経験してください。様々な出会いの経験は、皆さんにとって必ずや将来の大きな糧になることと思います。さらに出会いということに関して言うなら、人との出会いに加えて、自分が打ち込める何かと出会ってください。もちろん、学生時代に打ち込める何かを見つけることもそうですが、出来ることなら生涯打ち込むことができる何かをこの学生時代に見つけ出して欲しいと思います。

さて、冒頭に掲げた聖書の言葉を読んで、皆さんはどのような印象をもたれたでしょうか。「求めよ、そうすれば与えられる」。どこかで聞いた覚えがあるという人もいるかもしれません。あるいは、皆さんの中には、「求めるなら与えられる」と聞いて、「本当にそうだろうか。自分は今まで欲しいものが与えられるように色々願って来たけれど、あまり与えられた覚えがない」と思う人もいるかもしれません。確かにそうかもしれません。求めさせれば何でも与えられるのだとしたら誰も苦労しませんし、こんな楽なことはありません。もちろん、現実はなかなかそううまくいきませんし、現に今、私たちの誰もが一刻も早く通常の形で大学が始まることを待ち望んでいるのに、当面はそれが叶いそうにないという現実には私たちは直面しています。そしてまたこの聖書の言葉にしても、そのように何でも求めればすぐにそのまま与えられると語っているわけではないように思えるのです。

この聖書の言葉はむしろ、自分はどのように生きていくべきなのかということについて真剣に追い求めなさいと私たちに語りかけているように思います。つまり、しっかりと自分の道を追い求めるならば、いろいろと困難なことはあってもその道は必ず開かれていく、言い換えるなら、積極的に前向きに歩んでいきなさいと訴えているわけです。まさに今、私たちは大学にも行けない、自由に外出もできない、友達と会うこともできない、そういう不自由な生活を余儀なくされているわけですが、考えようによってはこういう時だからこそ打ち込めることがあるのかもしれないし、その意味では今こそ普段はできないことに取り組むチャンスなのかもしれません。

どうぞ皆さんも、これからの学生時代、それぞれ自分が進むべき生き方を日々追い求めていくような、そのような歩みをして頂ければと思います。そして何より、悔いのない学生生活を送ってください。学生生活のスタートにあたって、まずこのことをお願いしたく思います。